

令和2年度 SDGs チャレンジサポートプロジェクト
英語プレゼンテーション実習 in 筑波大学

(概要)

令和2年12月2日(水)筑波大学にて、同大生命環境系教授 堤 純 先生のご指導の下、英語プレゼンテーション実習を実施しました。1月の探究学習発表会に向け、内容の充実と英語力の向上を図ることが出来ました。

記

- 1 目的 これまでの課題研究の成果と英語でのプレゼンテーションの改善点を確認し、1月の探究学習発表会に向けて更なる内容の充実と英語力の向上を図る。
- 2 日時 令和2年12月2日(水) 14:00~16:30
- 3 場所 筑波大学 総合研究棟A
(茨城県つくば市天王台 1-1-1)
- 4 対象 第2学年 探究学習委員 14名
- 5 助言者 筑波大学生命環境系教授 堤純先生及び修士課程学生

6 内容

各グループ7分間のプレゼンテーションを行い、その後、助言者からの質問・アドバイスを受けました。今年度は、コロナ禍により8月の海外フィールドワークが中止となったため、英語でのプレゼンテーションは初めての経験でした。

9月に実施した中間プレゼンの時に比べ、研究成果はかなり深まっていました。

2021年1月末の探究学習発表会までまだ時間がありますので、さらに研究を深化させる良いきっかけになったと思います。コメンテーターの堤先生や大学院生のアドバイスは、生徒たちが発表に自信を持ったり、スピーチを改善する上でおおいに参考になったことでしょう。

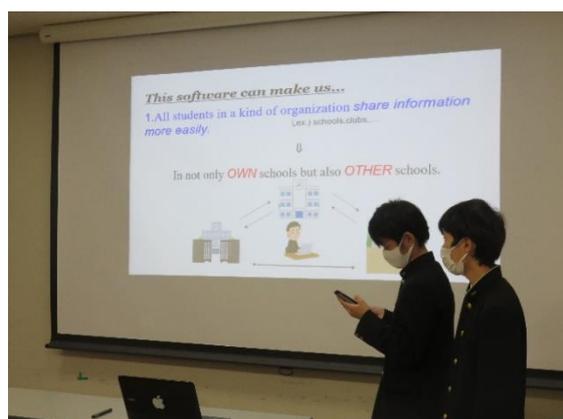
7 生徒の感想

- ・今回筑波大学でプレゼンを行い、直接堤先生からアドバイスを頂くという貴重な経験を通して、改善点や反省点を理解し、今後の指針を明確に策定することが出来ました。また、初めて英語でプレゼンを行ったことで、英語で伝えたいことを伝えることの難しさや、自分の英語力の低さを痛感し、研究とともに英語力も高めていきたいと感じました。この経験を生かし、より深い研究を進めていきたいと思えます。
- ・大学の方たちからの感想を聞くことが出来たので、本当に嬉しかったし、何より自分の研究に自信を持てた。英語でのプレゼンは、発表するだけじゃなくて、みんなの発表を聞くことで、受身の視点も実感することができてとてもよかった。
- ・参加している生徒全員のプレゼンを聞いたのは今日が初めてだったが、新しい気づきをいくつも得られた。特にスライドの構成と、始まり・終わりの挨拶は、今後自分たちのプレゼンに活かせる部分が多かった。最終発表まではまだ時間があるが、あっという間にその日はやってくると思うので、気を緩めずに改善していきたい。

8 英語プレゼンテーションの様子



プレゼンの様子



イラストを交えたスライド



堤先生からのアドバイス



みんなで記念写真